会　議　録

1　会議名

令和６年度第１１回安塚区地域協議会

2　議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

（１）ＮＰＯ雪のふるさと安塚との意見交換会の実施結果について

○自主的審議事項（公開）

（１）旧安塚中学校の利活用について

○その他（公開）

3　開催日時

令和７年３月２５日（火）午後５時００分から午後６時８分まで

4　開催場所

安塚区コミュニティプラザ　３階　大会議室

5　傍聴人の数

１人

6　非公開の理由

―

7　出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委　員：秋山委員、池田（正）委員、池田（康）委員、和泉委員、岩崎委員、新保副会長、松野委員、山岸委員、横尾委員、吉野会長

・事務局：安塚区総合事務所　今井所長、山崎次長、小林市民生活・福祉グループ長（併教育・文化グループ長）内田地域振興班長、本山会計年度任用職員

8　発言の内容（要旨）

【吉野会長】

・会議の開会を宣言

・滝沢委員、中村委員の欠席を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第８条第２項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

本日の会議録は、内規により私の方で対応する。

それでは、次第２：報告事項（１）ＮＰＯ雪のふるさと安塚との意見交換会の実施結果について、議事を進める。

去る３月１８日（火）午後３時から、地域協議会委員８名とＮＰＯ雪のふるさと安塚の職員３名が出席し、活動状況や地域づくりビジョンについて意見交換を行った。詳細については、事務局から説明をお願いする。

【内田班長】

去る、３月１８日火曜日の１５時から１時間にわたり、ＮＰＯ雪のふるさと安塚の３名と意見交換を行った。当日は、当協議会の活動状況を説明し、ＮＰＯ雪のふるさと安塚の活動状況や地域づくりビジョンについて説明を受けた。当日欠席の方については机の上に資料をお配りしてあるがそれに基づいてお互いに説明を行った。人口減少や耕作放棄地の活用、働く場所やインクルーシブに関することなどの話題について、議論が交わされた。詳細については、後日、記録を配布させていただくが、感想については、出席された会長からいただけたらと思う。

【吉野会長】

初めてのことだったので、うまくいくか心配しながら出席した。しかし、人口減少が進んでいく中で持続可能な安塚をどうやって作っていくか、そこが一番の目的であるというところがお互いに共通認識を持てたところである。では、その目的を果たすためにどうしていったら良いのか、活動については、規模の問題やどのような政策を当てはめていくとかというところまでは踏み込んで話をしていないが、今後この会合を続けて、しかも町内会連絡協議会なども入ってもらって、総合事務所、地域協議会、ＮＰＯ、町内会の皆さんでカルテットを構築したうえで、四つの力で前に進んでいければ良いと考えている。今の説明等について質問はあるか。

【和泉委員】

今、会長が会合を継続して実施していくと言われたが、具体的なスケジュールはあるか。月一回とか半月に一回開催とか。

【吉野会長】

今はそこまでは突き詰めていないが、何かしら定期的に会合をやりたい。我々は実施団体ではないため、実施団体である住民組織であるとか、町内会とかそういうところとしっかり手を組んでやっていく事が大事ではないかと思っている。また後日皆さんのお知恵をお借りしながら、進めていけるようにしたい。他になければ次に次第３：報告事

項（１）旧安塚中学校の利活用について、議事を進めていく。

既に、皆さんに周知しているが、前回の協議に基づき、商業施設化については、４月１５日に十日町市の雪原学舎と長岡市の和島トゥー･ル･モンドに視察を計画している。その他のやすづか学園については園長が変わられるとのことで、新しい園長先生が落ち着いた頃を見計らって、５月か６月頃に聞き取りを計画したらどうかと思っている。データセンターの進捗状況については、今のやすづか学園の移転と含めて事務局から説明をお願いする。

【内田班長】

資料№.１をご覧いただきたい。会長からも説明があったが確認の意味も含めて説明させていただく。前回の協議会で決定した内容を基に事務局で調整した結果が一番右の協議案（第１１回地域協議会）の欄になる。まず、真ん中の「商業施設化」については、先日案内文を送付済みであり、４月１５日に十日町市の雪原学舎及び長岡市の和島トゥー・ル・モンドに視察を行う予定としている。委員の出席者は９名の予定である。次に一番下の「データセンターの誘致」については、前回の協議では、長岡市への視察の際に伺うこととしていたが、視察先に十日町を追加したことと、先方に確認したところ、こちらに来ていただけることとなり、安塚に来ていただき、現地の旧安塚中学校等で研修を実施する方向で調整することとした。最後に一番上の「やすづか学園の移転」についてであるが、前回の協議において、職員、児童、生徒との意見交換を行うこととなっていたが、その後に学園長が今年度末で退職することや修学式が終わり、児童、生徒が不在であることから、すぐに実施するのではなく、新学園長の就任後の５月から６月の実施の方向でどうかと考えている。

【吉野会長】

皆さんから質問はあるか。

【和泉委員】

やすづか学園の関係者への聞き取りが６月以降になったとのことで、以前、会長は意見書の提出を、７月を目途にと言われていたが、この部分についてはずれ込むということか。

【吉野会長】

それについては、私の個人的希望ということで話をさせていただいたと思うが、来年度予算に反映するということになれば、その辺が限度か思う。このままでいくと少しず

れこんでしまうかもしれない。そもそも来年度予算で対応してもらえるかもなかなか難しい所である。この案が、地域協議会で採択されるとも限らないので、その辺も含めて今後のことになるかと思う。

【和泉委員】

前にもタイムスケジュール的なものを決めてほしいと言ったが、明確なものは会長の頭の中にあるか。

【吉野会長】

来年度の予算で意見書が反映できるとなれば、大体７月くらいが最後だろうと思う。来年度予算に反映させるには６月くらいまでか。

【内田班長】

実際、後になってくるとある程度決まった中でとなるので組み込めなくなる可能性もあるので早い方がより反映しやすくはなる。

【和泉委員】

大体９月くらいか。

【内田班長】

限度はそれくらいになるかと思う。ただ、毎年予算の時期が前後する事があるため確実に９月とは言えないが、大体それくらいである。

【吉野会長】

他に質問はあるか。

【池田（康）委員】

和泉委員提案の商業施設化の施設等設置案は、１階をラーメン店とか、２階を貸オフィスにするとかいろいろ盛りだくさんであるが、ラーメン店一つやるにしてもなかなか難しいと思うが、和泉委員にお聞きしたいが、この中で優先順位は何か。

【和泉委員】

これは理想的な活用方法を具体的に挙げたものである。やはり最初から全部はむずかしいので、目玉となるところで、子どもが遊べるようなところ、発想の根源にあるのは、冬場上越市では遊べるところが無いのではないかと思ったところである。スキー場などウインタースポーツをやるところはあるが、雪が降ったり、夏場の暑いときに屋内で遊べるところがあまり無いので、子どもさんを中心に遊べるようなものを作ってみればなと思う。要するに目玉になるものを作る、そこに子どもさんが来る、親御さんが連れて

くる、遊んでいると時間が経ってくるので食べるところが必要になると、一つずつ拡張していけば良いのかなと思っている。同時並行的に貸しオフィスなどの試行は進んでいけば良いと思っている。いきなり一度にやるわけではない。

【吉野会長】

まずは子育て支援のような形で、親子で一緒に遊べるようなところからスタートしていったら良いかなということで理解してよいか。

【和泉委員】

そうである。

【吉野会長】

他に質問はあるか。

【松野委員】

はっきり申し上げて非常に難しい。確かにこの形でやっていければ良いが、これを市に上げた時にどういう形で説明するのか、そこそこの費用はかかる。なので４月１５日の先進地の視察をする中で自分たちの思っていること、色んなことを意見交換して、それをたたき台として次へ進んで行く、そういう形になっていかないと今ここで、ラーメン屋がここです、遊ぶ場所がここですと言われても、確かに私たちもあれば良いが、色んなことを考えていくと、うーん、どうなんだろうという話になってしまう。私としては先進地を視察してから自分達でいろんなことを考えた方が良いと思う。

【吉野会長】

つまりそれは、経費の問題や持続可能性の問題があることから、まずは先進地視察をして、ちょっと勉強してからもう一回考えてみようと、そういう意見か。

【松野委員】

十日町市がどういう形で公募をかけたのか、市がどこまで協力してやっていたのか、それによってもかなり変わってくる。

【吉野会長】

他に質問等はあるか。

【秋山委員】

今さらであるが、協議する内容を決めた時にそもそも思いつかなかったのであるが、仮にやすづか学園を移転した時に今の学校が無駄になってくる。商業施設については、非常に難しい。松野委員も言われたように、経営が成り立たないと思う。データセンタ

ーを作ったとしても、サーバーが並んでいるだけなので、雇用の創出にはならないと感じる。先ほど今さらと言ったが、福祉施設の誘致などもここに新たに加えても良いのではないか。例えば老人施設として体育館で運動も出来たりする。お年寄りの健康のために活用出来たりする。このようなことも含めて、この三つに固執せず可能性のあるものを探してもいいのではないかと思った。

【吉野会長】

まだまだ可能性を考えればもう少し検討した方が良いということか。

【秋山委員】

この三つにしてしまうと視野が狭くなってしまうと思う。

【吉野会長】

その辺については来月、皆さんからご意見をいただきたいと思う。

他に質問等はあるか。

（特になし）

次に、次第４：その他（１）次回の地域協議会の開催日を確認する。通常であれば第４火曜日の４月２２日（火）の開催となるが皆さんの都合はいかがか。時間は６時３０分からで良いか。

（一同了承）

その他、事務局から連絡事項はあるか。

【今井所長】

資産活用課から情報提供があったので、廃校利活用に関する対話型市場調査について、前もって皆さんにお伝えする。

令和７年度に市内の廃校の一定数について、サウンディングにより意見を募集する。地域協議会の皆さんには後日、調査の詳細を記した説明文を送付するのでご覧いただきたい。また、４月の地域協議会で、もう少し詳しくご説明する予定である。

【吉野会長】

ひとつ聞かせてほしい。基本的に市の考え方としては、それぞれの課と横の連絡はそれほど取らないで、あくまでも資産活用課が中心になって、企業というか民間の投資で何とかしていきたいというのが考え方か。

【今井所長】

今回は横串が入っている。総合事務所、総合政策課、地域政策課、教育総務課、社会

教育課でチームを作り、相談してこの作業は進めている。資産活用課が単独でやっていることではない。

【山崎次長】

町内会の分町について情報提供させていただく。

大原、小黒、切越、朴の木、芹田、行野自治会で構成しているおぐろ町内会から、４月１日からそれぞれが各町内会として分町するという内容の連絡があったのでお伝えする。

【吉野会長】

以上で第１１回安塚区地域協議会を閉会する。本日で令和６年度最後の開催となる。来年から充実の地域協議会にしていきたいと思うので、引き続きご協力をお願いする。

９　問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ　　TEL：025-592-2003（内線 23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

１０　その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。